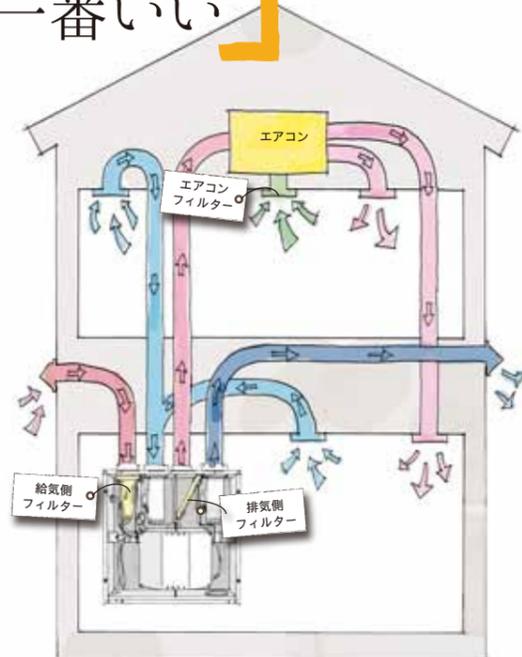


「メンテナンスが簡単なのが一番いい」

メンテナンスはもともと毎日するものではありません。
たまにするだけだと言っても、説明書を引っ張りだして、おそろ
おそろやってみるメンテナンスほど苦痛なものはありませんよね？

日頃のメンテナンスは本当に簡単です。

エアコンは天井のフィルターが汚れたら取り外して綺麗にするだけ。
換気システムは半年に1度、中のフィルターを綺麗にするだけ。
メンテナンスのいらぬものはないですが、できるだけ簡単なもの
をお勧めしてきた結果、G-Air という商品ができました。
換気本体の設置位置も壁付けにすることにより、ハウズオーナーが
年齢を重ねてもメンテナンスの難易度は上がりません。『G-Air』は
動力部分(将来のリニューアル箇所)がエアコン内と換気本体内のみ
の最低限の箇所数となり、点検箇所を少なくわかりやすくしています。



「15年、20年先のメンテナンスまで考えられたシステムです。」

高性能住宅化が急速に計られている日本の住宅において、
住宅資材の選択肢は多岐にわたります。
それは換気システムも然り、冷暖房設備も然りです。
その中で必ず製品寿命が伴う部分が設備となります。
万が一、エアコンが壊れて取り替えることになっても
エアコンと換気システムが分かれて制御されているため、
費用を最小限に抑えることができます。

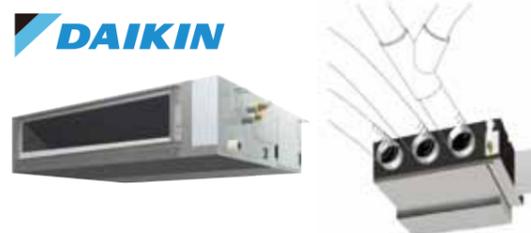
ガデリウス・インダストリー(株)は創業100年を経過しました。
建材事業部においては輸入販売を開始した1980年代の商品
アフターパーツも、可能な限り供給を行ってきております。
経過しても、製品の形状が変化したとしても、商品の供給体制
の持続に努める理念で今日に至っており、その理念はこれか
らも変わりません。

天井埋込ダクト形エアコン

レイアウトフリーで見た目もすっきり、
メンテナンス性にも優れたダクト空調の本格派。

※～設計者の方へ～

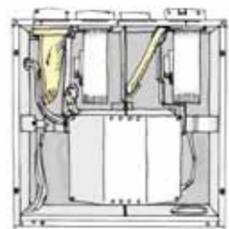
地域によって業務用と家庭用の使い分けを、住宅の大きさによって
一家に1台、各階に1台という使い分けを行ってください。



熱交換換気システム

換気先進国スウェーデンの思想を取り込んだ全熱交換換気システム

住宅環境先進国・スウェーデンでは、早くから高密度・高断熱住宅が発達し、それに伴う弊害についても、
さまざまな検討がなされ、結果として多くの改善と進化を遂げてきました。特色の一つとして、熱交
換素子は金属系素子を使用しているために吸湿によるカビの発生の恐れがありませんので、浴室の換
気も可能です。大きな熱量を持つ浴室からの排熱を回収することは、熱交換の視点から見てもとても
有効と言えます。局所換気を併用する事ありませんので、無駄なエネルギーロスを防ぐ事ができます。
モーターに関してはDCモーターを採用して省エネ対策を行っています。住宅環境先進国が長い時間
をかけて培ってきた、信頼性の高い換気システムと、住宅の長寿命化に対応した堅実な設計により、
長期間にわたって快適な住環境をご提供します。



24時間換気システムとハウジングエアコンの 組み合わせによる全館換気冷暖房システムの決定版



たった1台のエアコンで全館冷暖房の快適生活を実現します。
もうインテリアに邪魔だったエアコンは視界からなくなります。
G-Air ならエアコンから噴き出す嫌な風もほとんど感じません。
G-Air ならエアコンから噴き出すカビの嫌な匂いもありません。
G-Air で、いつでもどこでも快適温度、最高の空気品質での
健康的な暮らしを実現してください。

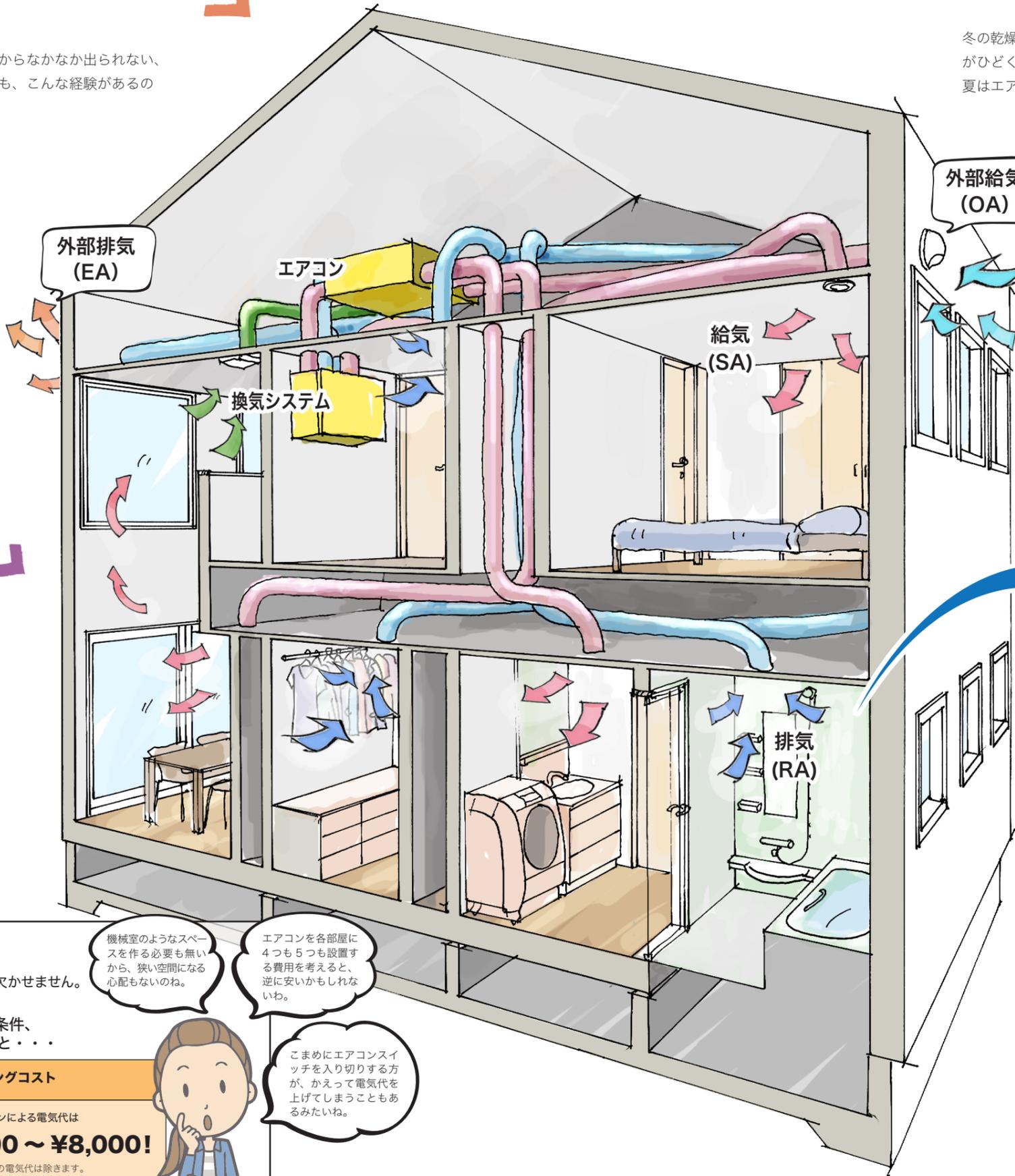
「エアコン1台で家中どこでも快適温度」

夏の夜に帰宅した時、家がむっとした経験はありませんか？
二階にあがるとまるで蒸風呂のようだったり。冬の朝、寒くて布団からなかなか出られない、お風呂の前の脱衣の時は寒くて。ヒートショックとははなくても、こんな経験があるのではないのでしょうか？

家の中はどこにいてもほとんど同じ温度です。

それは24時間弱い力で運転を続けていること、一か所や2か所で集中するのではなく家のいろいろなところに暖房、冷房のポイントが配置されているため、家の中は省エネでどこにいても快適な暮らしが実現します。

冬の朝の寒さ、夏の夜の暑さからあなたを解放してみたいかでしょうか？



「気流を感じないから心地いい」

冬の乾燥時期に、エアコンから吹き出してくる風を身体に感じると乾燥感がひどく、顔もバリバリしてくるような気がします。
夏はエアコンの風を受けると足元がとても寒く感じたり。。

エアコンからの吹き出し口が 家の中にたくさん配置されています。

冷房期、暖房期は24時間自動で運転しますのでいつも奪われた分だけ、温度を継ぎ足すように少しだけ運転しています。また、緩やかな気流が天井に沿ってゆっくりと流れますので普段私達はこの気流を感じることはありません。だからエアコンでも冬場の乾燥感が全然違うし、夏だって足元だけひんやりなんてさせないのです。

一般的な住宅は浴室とトイレの換気は別システム。「G-Air」なら換気システム内の熱交換素子が金属製のため、大量の水蒸気を含む浴室の空気も換気することが可能です。

「24時間運転でも 静かに暮らしを見守ります」

エアコンを強く運転しているとテレビの音が聞こえにくかったり、エアコンの音で夜中に目を覚ましてしまったり。。

エアコンが動いているか わからないくらい静かなところが自慢です。

収納内部や小屋裏に設置されたエアコンは、部屋にむき出しになっていないのでとても静かです。普段の運転も弱運転がメインなので運転音もとても静か。

また、換気システムも静音設計になっているので、普段この換気システムが24時間動き続けていることも忘れてしまうでしょう。

費用はいくらかかるんだろう？
家全体が快適な温度。でも導入費用やランニングコストのチェックも欠かせません。

機械室のようなスペースを作る必要も無いから、狭い空間になる心配もないわ。
エアコンを各部屋に4つも5つも設置する費用を考えると、逆に安いかもしれないわ。

全館空調よりもシステムがシンプルだから費用を安く抑えられるのね。

たとえば、東京都のような気象条件、30坪程度の高性能住宅へ導入すると・・・

イニシャルコスト	ランニングコスト
一般的な全館空調と比較すると 6～7割 の費用で導入できます。	換気システム+エアコンによる電気代は 月々平均¥6,000～¥8,000! <small>※照明機器や家電機器等の電気代は除きます。</small>



※当社計算による

「空気品質」

家の中の空気品質の決め手は換気をきちんと行うこと。しかし日本の換気のルールはとてもしつこい加減なものです。極端に言えば、大きなファンモーターがついていればそれで法的には合格！となってしまいます。住宅を検討の際はプランニングの時から換気計画について考えなければ、ずっと劣悪な空気を吸って生活しなければならない状態になりかねません。私達は1日にご飯を1kg、水を3kg、空気は30kg、身体に取り入れて生きています。30kgの空気の内、7割は家の中の空気とされています。

家族の健康を、一回一回の呼吸を、 考えませんか？